

かんちゃん通信

令和元年 11月8日(金)発行 文責：林 寛

～一緒に遊ぼう「秋」～

1日(金)は、親子で稲佐山に遠足に行きました。とてもいいお天気で、子どもたちも、保護者の皆さんからも、いい笑顔がたくさん見られました。

週末に、家族で公園に行って遊ぶことは、時々あることだと思いますが、幼稚園の友だちや先生方と一緒に園外で遊ぶことも、いつもの環境と違って、また楽しいものだと思います。私自身も、数年ぶりの稲佐山でしたが、とても楽しい気分になりました。

遊具で遊ぶ子どもを見守ることも大切な親の役割ですが、多くの保護者の方が我が子と一緒に、同じことをして遊んでいました。一緒にフラフープを回したり、一緒にかけっこをして競争したり、サッカーボールを蹴り合ったりする姿が見られました。いい光景でした。

成長するにつれ、子どもたちの記憶からは、幼稚園の遠足で稲佐山に行き、お母さんと一緒にかけっこで競争をした、という思い出は無くなっていくかもしれませんが、お母さんと一緒に遊んで楽しかった、という「思い」は心の中に残り続けると思います。

遠くに旅行に行かなくても、回数が多くななくても、親子で触れ合うという時間がしっかりもてれば、子どもたちは「愛されている」という感覚をもち、自己肯定感が高まり、自信をつけ、様々なことにチャレンジしていくことでしょう。

